

(1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

12月に行われたオープンキャンパスに参加し、説明を聞く中で同志社女子大学の魅力を感じたため、一般入試で受験することを決めました。

(2) 一般入試対策としての受験勉強の進め方について。

〔1学期〕

私は、もともと理系に進学する予定だったため、1学期は英・数・理を勉強していました。英語について言うと、私が一番苦手としていた教科のため、基礎が大切と思い、基本的な単語、文法を勉強しました。

〔夏休み〕

夏休みに、文系の英語が勉強できる学校へ進学することを決め、英・国を勉強しはじめました。国語は、全く勉強していなかったため、古文単語、文法を必死に覚えしました。英語は、単語、文法を覚えながら、短い文を読むように、一文和訳をしていました。

〔2学期～入試直前〕

2学期に入ると、セッター試験の過去問を解きはじめました。

過去問は、文法の問題と、最後の長文を解いていました。

12月に入って、同志社女子大学を受けることを決めて、オープンキャンパスでもらった過去問をすべて解きました。

毎日、覚えた単語を見直すということをはかすずに行いました。長文の中で分からない単語があれば印をつけておいて、終わったあとに調べ、ノートにまとめていました。

(3) この一年間の受験生活において、受験勉強と高校の行事やクラブ活動の両立、健康面での注意、テレビやスマートフォン等との付き合い方、スランプとその対処法について。

夜は、夜ふかしせずに早く寝て、朝は早く起きることを心がけていました。

スマートフォンは、通知オフの状態にして、勉強している間は、カバンの中に入れて自分の近くに置かないように気を付けました。

私は、ドラッグを見るのも好きだったので、見ることはやめていませんでした。

スランプに入ったときは、思い切って1日、2日休憩した方がいいと思います。

(4) 受験を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

受験が始まる前は、長いと感じるかもしれませんが、勉強し始めると一瞬です。

この1年、頑張って損は絶対にありません！！